

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

427,931円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代他)	222,984円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	9,033円
通信費(折込、携帯電話代)	195,914円
支出計 22/9/1～22/9/30	427,931円

寄付 匿名	1,000円
-------	--------

市政を考える 月刊武松

発行日
22/10/1

第205号

20300部発行

たけまつ ただし
頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

旧商工会館寄贈とは

市が承認したら 解体費用(1～1.5億円)は、税金で

既にタウンニュースで報道されたように、小田原箱根商工会議所が、小田原市に対し要望書を提出されました。その内容と議会での守屋市長答弁と寄せられたご意見を示します。

小田原市長 守屋輝彦 様

小田原箱根商工会議所会頭

旧小田原箱根商工会議所商工会館の寄贈に関する要望(挨拶部省略)

当所はここを拠点として約50年間、入居団体とも手を携えつつ、地域企業の支援のための様々な取り組みやまちづくりの提言の発信等、地域経済の活性化に資する活動を展開してまいりました。

しかしながら旧商工会館の敷地は、将来の城跡整備計画の範囲内にあり、建替えることが不可能であるため、いずれは移転しなければならない状況でした。

そのような中、永年の課題でありました会館の移転について、市内本町に所在の既存物件を取得、改修工事を施した上で、令和3年2月に移転いたしました。

小田原市と当所の間の土地の賃貸借契約では、契約終了時に建物を解体し返還することになっておりますが、建物は平成10年に耐震補強を施しており、用途により一部修繕が必要な箇所があることが予想されるものの稼働できる状態にあります。立地面からも利用することが考えられますので、未修繕箇所の対応を当所にて実施の上、旧商工会館を小田原市へ寄贈し有効に活用していただきたいと考えております。

つきましては、旧商工会館の寄贈をお引き受けいただきますよう、ご検討よろしくお願いいたします。

■旧商工会館解体に対する議会での質問と答弁

令和3年3月 武松 忠 志民・維新の会代表質問
武松 忠 旧商工会議所建物撤去について伺います。
小田原箱根商工会議所が、2月1日にメガネスー

パー旧本社ビルに移転しております。そこで、旧商工会議所ビルの建設当初に交わした、建物、土地に対する市との契約等の内容を伺います。私は、建物を無償譲渡され、建物解体費用を市が負うことになるのではないかと危惧しております。そこで、現在の契約における解体実施者は誰か伺います。

守屋市長 旧商工会議所ビルの建設当初に交わした建物、土地に対する、市との契約等の内容について質問がございました。当該市有地につきましては、小田原箱根商工会議所との土地使用貸借契約を昭和44年12月に締結して以来、無償で貸し付け、契約更新をしており、現在の契約期間は令和5年3月31日までとなっております。本契約では、当該土地を商工会議所建物敷地として使用し、維持管理等の必要経費は小田原箱根商工会議所が負担すること、また、契約解除や終了時の原状回復義務などを定めております。

次に、現在の契約における解体実施者について質問がございました。現在の契約におきまして、本契約が解除され、または終了したときは、市が承認した場合を除き、小田原箱根商工会議所が、自己の費用で遅滞なく当該敷地を原状に復し、返還することとなっております。以上

従って、市が承認したら市民の税金で解体することになります。

■寄せられたご意見(7件要約)

- 解体するより、修繕未対応部分の修繕をするほうが費用が安いから、市に寄贈なのか。
- 市長の答弁とおり更地にして返還(同他2件)
- 改修に5千万掛けても、商工会議所は1億の儲け。
- 商工会議所が、契約事項を軽視するとは。
- 緊急災害物資の保管や退避場所として利用。

■議会や市の現状

残念ながら報告のあった建設経済常任委員会では特に反対意見も無く、市は既に、旧会館の利活用について検討しています。動向に注目です。

国府津駅前広場渋滞問題

国府津駅前広場が拡張し、8月23日より供用開始されました。夏休みが終わり、学生の通学が始まり、駅利用が通常に戻ると様々なご指摘を頂くようになりました。

そこで、当初の想定と実際の使われ方、現状でどう改善できるか考えてみたいと思います。

■拡張以前の状態

- 雨天夕方に、迎え一般車が10台以上停車し、最大で国道1号線上に10台以上渋滞が続いた。（送り一般車やタクシーは、渋滞の横を通り改札前まで通ることができた。）

■拡張計画の想定

- 駅前広場の道路長を延長し、迎え一般車の列を吸収し国道1号線に影響を与えない形態にする。
- 延長部分には一般車を駐車させない。
駐車を防ぐため道幅を狭める。（警察案）
→ 地域要望で拡張
- 20分無料駐車場を設置し、迎え一般車を吸収。
- 20分無料駐車場に入りきれない一般車は、駅前広場を循環する。（路上停車しない）

■拡張後

- 延長部に迎え一般車が停車。
送り一般車が停車車両の横を通れなくなり、迎え一般車と送り一般車ともに渋滞
- 延長部に他県ナンバーの迎え一般車も目立つ。
- 20分無料駐車場が、延長部停車車両によって利用できない。（雨天平日夜間）
- 夜間延長部のゼブラゾーン（導流帯）に工事車両が駐車し、停車車両の横を通過できない。

■一般車の状況

- 女性や高齢者の運転が多い。
- 運転手が交代する場合がある。
- すぐに降車しない一般車も多い。
飲食中、時間待ち、スーツケース積み下ろし
- 迎えは、電車到着待ちの為、停車時間が長い。

■改善策

残念ながら、慣れによる改善は期待できません。

- ①停車する場合は、極力左に寄せる。
- ②迎え一般車は、20分無料駐車場を利用する。
- ③改善されない場合、路上は駐停車禁止にする。

思いやりで皆が使いやすく

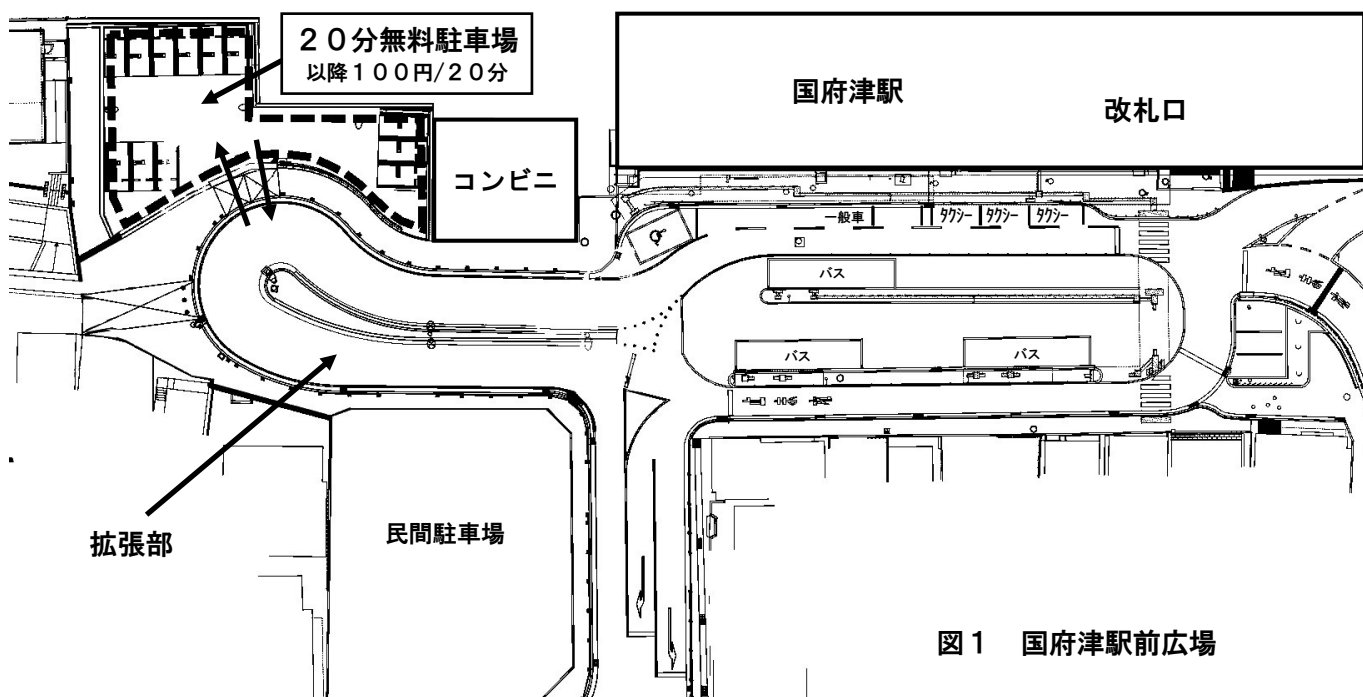


図1 国府津駅前広場

■お知らせ■

議会報告会は、当面の間、中止します。



公式HP
月刊武松パツナバー他



twitter
防災・感染症情報



facebook



気象庁キキクル
洪水害



▲北條五代祭りにて
来年は議会の参加なし